

地方創生事業総括シート

事業名	天塩國(てしおのくに)眠れる食資源活用プロジェクト																					
開催日時	通年																					
開催場所	天塩町ほか																					
対象者	町民ほか																					
実施目的	<p>・「食の力で地域を元気に」をテーマに、農畜水産物の掘り起こし、魅力の再定義を行い、高い販売力・インスタ映えする商品を開発。販路を確保した上でマーケットがほしい商品に磨き上げる。生産者の所得を向上させ、積極的に情報発信し人口減少に耐えるべく新規投資への基盤を整える。</p>																					
情報提供方法	町広報	○	パンフレット等		放送・新聞	○																
	説明会等		インターネット	○	その他																	
連携団体	道銀地域総合研究所 他																					
事業の概要	<p>・GohGan TAKAO HOKKAIDO 4年連続アジアNO.1レストラン「Gaggan」ガガン・アナンド氏と、博多フレンチ「La mMaison de la Nature Goh」のオーナーシェフ 福山剛氏、ミシュラン北海道史上初の星獲得イタリアンレストラン「TAKAO」高尾僚将氏によるポップアップアップレストランを札幌市にて開催。町は特別協賛として、食材の提供を行う。2日間4回約80名の来客があった。</p> <p>・Ristorante Da Teshio(ポップアップレストランイベント) 東京麹町のイタリアンレストラン「エリオ・ロカンダ・イタリアーナ」、東京神楽坂のイタリアンレストラン「トラットリア・ラ・タルタルギーナ」のシェフらを招聘し、てしお温泉夕映にて、ポップアップレストランイベントを開催。町食材をふんだんに使用したイタリアン料理を提供。ランチ・ディナーあわせて、約90名の来客があった。</p> <p>・公認インスタグラマー事業 別紙シートを参照</p> <p>・各種物産イベントに参加 てしし名寄まつり×出張HTBイチオシ！まつり、北海道旅行博、さっぽろ雪まつりに出展を行い、町特産品のPRを行った。</p> <p>・海外展開を見据えたマーケティング 日本(北海道ブランド)が人気である東南アジアに向けた商品の輸出、販売ルートのマーケティング。シンガポール高島屋におけるイベント販売を実施し、販路のさらなる拡大を目指す。</p> <p>・地域商社設立の推進 地域商社設立に向け、商談会の参加や特産品開発の推進。加工場が整備され、町産として出回ることのなかった「いくらの醤油漬け」が商品化されるなど、特産品開発が格段に促進された。また、販路が広がり、町産食材が東京レストランにて料理として提供されるようになった。</p>																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">主たる開催曜日</td> </tr> <tr> <td>平日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土・日</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主たる開催時間</td> </tr> <tr> <td>午前</td> <td></td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td></td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">実施回数</td> </tr> </table>	主たる開催曜日		平日		土・日		主たる開催時間		午前		午後		夜間		実施回数						
主たる開催曜日																						
平日																						
土・日																						
主たる開催時間																						
午前																						
午後																						
夜間																						
実施回数																						
成果と課題	<p>○成果 ・3年間の交付金事業の成果として、プロジェクトによって縁のできたことで、初めての開催となるポップアップレストランイベントを開催することができた。イベントをつづじて町民に対し、町食材の可能性と、食材の良さを再発見する機会を提供できた。 ・地域商社の設立により、ECサイトの構築と加工場の整備ができた。特に加工場の整備によって、主に魚介類の特産品開発が格段に促進された。</p> <p>○課題 交付金事業が終了し、自走していくこととなるが、町としてのアシストを要する部分があると考えられる。</p>																					
																						

地方創生事業総括シート

事業名	公認インスタグラマー事業															
開催日時	通年															
開催場所	インスタグラム															
対象者	インスタグラム利用者															
実施目的	町食材を広くPRするため、料理投稿に優れ、多数のフォロワーを獲得している主婦インスタグラマーを採用し、インスタグラムにより、町食材を活用した料理写真・記事を投稿してもらう。															
情報提供方法	町広報	○	パンフレット等		放送・新聞	○										
	説明会等		インターネット	○	その他	○										
連携団体	インスタグラマーナヲさん(フォロワー数)															
事業の概要	<p>○利用食材・投稿回数 4月 サフォーク、ホッキ貝、ハマボウフウ、ヨーグルト 4回 5月 ウド、フキ、カレイ、ハッカク、カスベ、サクラマス、牛乳 4回 6月 ヒラメ、ワラビ、チーズ、牛乳 3回 10月 鮭、鹿肉、チーズ(モッツアレラ、カチョカパロ)、牛乳 9回 11月 アンコウ、チーズ(カマンベール)、菊芋、しいたけ、カジカ、ヒラツメガニ、 山芋 4回 その他投稿 3回 計 26回の投稿</p> <p>○投稿における広告費換算 フォロワー約8万人×投稿数26回×3~5円=6,240,000~10,400,000円</p> <p>○町来訪 5/22-24 2泊3日 10/5-8 3泊4日</p> <p>○メディア取材 4/17 テレビ東京「ゆうがたサテライト」 5/6 東京新聞 6/4 北海道新聞 6/4 日刊留萌 6/22 NHK「おはよう北海道」 6/26 日本テレビ「ニュースZERO」 9/14 NHK「金沢ナビゲーション」 10/8 北海道新聞 11/13 北海道新聞</p> <p>○自治体問い合わせ 三重県伊勢市役所、茨城県土浦市役所、愛知県庁、神戸大学附属中等教育学校、島根県庁、東京都豊島区教育委員会、静岡県小山町</p>															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">主たる開催曜日</td> </tr> <tr> <td>平日</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>土・日</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主たる開催時間</td> </tr> <tr> <td>午前</td> <td></td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td></td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>26</td> </tr> </table>	主たる開催曜日		平日	○	土・日	○	主たる開催時間		午前		午後		夜間		実施回数
主たる開催曜日																
平日	○															
土・日	○															
主たる開催時間																
午前																
午後																
夜間																
実施回数	26															
成果と課題	<p>○成果 ・インスタグラムによる広告費換算 →約6,240,000~10,400,000円の広告効果 ・メディア露出 →テレビ4回 新聞5回 ・地元生産者・主婦との関係性を構築できた。</p>															
	<p>○課題 町公認インスタグラマーは、自治体初、新しい働き方の視点で話題を集め、天塩町食材のPR効果があったが、消費者への販売チャンネルの脆弱性が課題である。</p>															
																

地方創生事業総括シート

事業名	シェアリングエコミー構築プロジェクト 働き方改革(女性の活躍推進)																			
開催日時	通年																			
開催場所	てしお温泉夕映 コワーキングスペースほか																			
対象者	家事や子育て等によって、日中働くことが困難な主婦等																			
実施目的	各々の理想の働き方を実現できるようなカリキュラムを提供し、理想な働き方の明文化及びライティングスキル、クラウドソーシング、これら3つのスキルを座学で学ぶと同時に、講義期間中に実際報酬を得ながら仕事内容や、受注・契約方法などの実践的な知識・経験を習得し、主婦層の所得向上を目的とする。																			
情報提供方法	町広報		パンフレット等	○	放送・新聞															
	説明会等	○	インターネット	○	その他															
連携団体	ランサーズ株式会社																			
事業の概要	<p>○自主勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モヤモヤ解消会(オンラインおよび夕映) 第1回 5名 第2回 7名 第3回 10名 第4回 5名 延べ 27名 ・相談会(オンラインおよび夕映) 第1回 5名 第2回 2名 第3回 2名 第4回 1名 第5回 1名 第6回 5名 延べ 16名 計 43名 <p>○モヤモヤ解消会・相談会講師 講師:三浦 希枝 氏</p> <p>○講師による講座および取材 平成30年11月28日(土) てしお温泉夕映コワーキングスペース 講師:桂 浩一 ・受講生に対し、記事の作成方法について講義を行う。 ・夕映の取材を行い、「夕映体験レポート」の記事掲載。</p> <p>○受講生による報酬実績 H28 310千円 11名 H29 2,192千円 8名 H30 2,467千円 11名</p> <p>○各製作物 ・夕映コワーキングスペース案内チラシ 夕映に設置 ・シェアリングエコミーパネル 夕映に設置</p>																			
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">主たる開催曜日</td> </tr> <tr> <td>平日</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>土・日</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主たる開催時間</td> </tr> <tr> <td>午前</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td></td> </tr> </table>	主たる開催曜日		平日	○	土・日		主たる開催時間		午前	○	午後	○	夜間		実施回数				
主たる開催曜日																				
平日	○																			
土・日																				
主たる開催時間																				
午前	○																			
午後	○																			
夜間																				
実施回数																				
成果と課題	<p>○成果 3年間の事業で約500万円の収入を新たに得ることとなった。年々報酬額も多くなってきていることから、受講生において、新しい働き方は根付きつつあるといえる。また、受講生同士での勉強会を町を介さず開催できたことから自走体制が整っているといえる。</p> <p>○課題 3年間の交付金事業は終了するが、一人の受講生が主を占めているため、他受講生の報酬増に向けた取組の推進が求められる。</p>																			
	 	 																		

地方創生事業総括シート

事業名	シェアリングコミュニティ天塩モデル構築プロジェクト (天塩～稚内間 相乗り交通事業)																			
開催日時	通年																			
開催場所	シェアリングコミュニティ天塩モデル構築プロジェクト(天塩～稚内間 相乗り交通事業)																			
対象者	町民(ドライバー・相乗り同乗者)																			
実施目的	天塩町民にとって生活圏機能(病院、商業施設など)を有する稚内市まで公共交通の不便さ脆弱性をマイカーによる相乗りにより、交通弱者にとっての移動の足の確保(新たな交通インフラ基盤の確立)を行う																			
情報提供方法	町広報	○	パンフレット等	○	放送・新聞	○														
	説明会等	○	インターネット	○	その他	○														
連携団体	株式会社notteco(筑波大学、北海学園大学)																			
事業の概要	<p>【概要】 平成29年1月にネット上でマイカーによる相乗りを仲介するサイトを運営する株式会社notteco(ノッテコ)と提携し、新たな交通インフラの構築を目指す。中長距離コストシェア型のライドシェアの取組みは全国初。天塩町では病院、買い物など生活圏となっている稚内市までの約70kmに直通的公共交通機関がなく、一方、一定数の町民が空席のあるマイカーで稚内市まで往復していると推測されます。この空席と高齢者など移動の足に困っている方とを同社のシステムにより相乗りマッチングさせて移動を試みる実証実験を平成29年3月より実施し平成29年11月からは、本格導入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数(2019年3月末まで) 323人(延べ人数) ・同乗者登録数 82人 ・ドライバー登録車 32人(うち主力ドライバーは3人) <p>【平成30年度に実施した取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「筑波大学との連携」 本取組みに関心を持った筑波大学社会工学が調査研究対象とし、学会で発表した。また、この縁がきっかけで同大学が天塩町の教育、人材育成に支援することとなり、8月に研究室の合宿を行い、ライドシェアの普及推進方法、電気自動車の可能性について、地域研究・分析を行い、研究結果を報告いただいた。 ・行革甲子園出場 愛媛県で開催された行革甲子園に全国141事例中、決勝8団体の発表事例として選定され、「相乗り交通事業」の事例発表を行い、優秀賞として表彰を受けた。 ・音声インターフェースによる実証実験 北海学園大学の准教授・学生が、配車マッチング等についてAIとICTを用いることで、効率性と利便性を高めることができないか、という点に着目し、「音声インターフェース」を活用した配車マッチングの可能性について実証実験を行った。 ・各所からの視察・取材対応等 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局、芽室町議会、連合総研、興部町自治会、三重県津市議会、北海道総合政策部地域創生局、北海道主催ふるさとミーティングによる事例発表、北海道新聞報道センター、政府広報番組 																			
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">主たる開催曜日</td> </tr> <tr> <td>平日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土・日</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主たる開催時間</td> </tr> <tr> <td>午前</td> <td></td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td></td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">実施回数</td> </tr> </table>	主たる開催曜日		平日		土・日		主たる開催時間		午前		午後		夜間		実施回数				
主たる開催曜日																				
平日																				
土・日																				
主たる開催時間																				
午前																				
午後																				
夜間																				
実施回数																				
成果と課題	<p>〔成果〕 相乗り利用についてはほぼ毎日問い合わせがあることから、利用する方にとって、必要な交通インフラになり、認知度も口コミにより広がっている状態にある。自治体間においても、過疎地域における地域交通について、同様の課題があるため、道外を含めた市町村からの問い合わせが多くなっている。</p> <p>〔課題〕 同乗者については利用ニーズは多いが、ドライバーは少数であり、過度に負担が多くなっている。ドライバーに対し、法に触れない範囲でのインセンティブの付与が求められる。また、同乗者に対する保険の導入を検討し、不慮の事故が起こった際の補償を町で担うなどの対策を思案する必要がある。</p>																			
																				

地方創生事業総括シート

事業名	グローバル人材輩出プロジェクト セカクル@天塩町																					
開催日時	平成30年8月10日																					
開催場所	天塩中学校																					
対象者	中学生・高校生																					
実施目的	地方の子どもたちに国際的な視野から物事をとらえるベネフィットを実感してもらい、地方発グローバル人材の育成に向けた英語学習へのモチベーションを高めること及び国際経験豊富な現役大学生及び留学生と郷土についてディスカッションをし、地域が有する強みを理解すること																					
情報提供方法	町広報	○	パンフレット等	○	放送・新聞	○																
	説明会等		インターネット	○	その他																	
連携団体	セカクル(早稲田大学国際教養学部)																					
事業の概要	<p>○目的・テーマ 国際的な視野から物事を捉える手法や英語を話すことの面白さを学ぶとともに、「英語をととして一歩踏み出し、異文化をと触れ合おう」をテーマに、プログラムで一歩踏み出すことを実践し、自信を持てるようになること、英語で自分を表現する力・相手に伝える力を身につけることを目的にワークショップを開催した。</p> <p>○ワークショップ内容 8月10日(金)ワークショップ 天塩中学校 ・参加者:17名(天塩中 16名、幌延中 1名) (午前) ・オープニング:セカクルの説明 ・アイスブレイク ゲーム①Snowball 目的:失敗を恐れず、楽しく英語を使う。 ゲーム②セカクルクル 目的:短時間の中、積極的に英語を使いながら国の情報を得る。 ・プレゼンテーション ディスカッションに向けて、セカクルメンバーが過去の五輪の開催地を紹介する。 (午後) ・ディスカッション 「天塩町を五輪の開催地に立候補しよう」をテーマにディスカッション ・英語でのプレゼンテーション セカクルのアシストを受けながら、英語でのプレゼンテーションを実施。 ・クロージング(セカクルによるまとめ)、集合写真撮影</p> <p>○参加者の声(アンケート結果)要約 英語への学習意欲の向上があった、次回もワークショップに参加したいとの回答が多く、大学生との交流を望んでいるものであると推測される。</p>																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">主たる開催曜日</td> </tr> <tr> <td>平日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土・日</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主たる開催時間</td> </tr> <tr> <td>午前</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>1</td> </tr> </table>							主たる開催曜日		平日		土・日	○	主たる開催時間		午前	○	午後	○	夜間		実施回数
主たる開催曜日																						
平日																						
土・日	○																					
主たる開催時間																						
午前	○																					
午後	○																					
夜間																						
実施回数	1																					
成果と課題	<p>(成果) 今回の開催で3回目の開催となったが、過去3年間すべてのプログラムに参加した学生もおり、参加した生徒に対しては、セカクルの取組に意義を感じているものと考えられる。また、天塩町には、近場に大学がなく、大学生と触れ合う機会がないことから、大学と連携した取組を行うことは、進路を考えるうえで、重要なものになると考える。実際に、アンケートで、「早稲田大学に行きたい」との記載があるなど、少しではあるが、意識の変化も見られる。</p> <p>(課題) 参加生徒が伸び悩んだところである。参加した生徒からは、大変好評であることから、どう事業をPRしていくこと、事業をどう継続していくかが課題である。</p>																					

地方創生事業総括シート

事業名	筑波大学との中高大連携プロジェクト																					
開催日時	平成30年8月25、26日、平成31年2月15、16日																					
開催場所	天塩中学校																					
対象者	中学生・高校生																					
実施目的	筑波大学と連携し、今後地域を支えていく中高生の人材育成を目的に、KJ法等を活用し、論理的に課題を整理し、どのような取組を行うかを検討するワークショップを開催する。																					
情報提供方法	町広報	○	パンフレット等	○	放送・新聞	○																
	説明会等		インターネット	○	その他																	
連携団体	筑波大学社会工学類都市計測実験室																					
事業の概要	<p>□ワークショップ内容</p> <p>○8月25-26日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場:天塩中学校 ・参加者:25日 14人(中学生10人、高校生4人) 26日 7人(中学生2人、高校生5人) ・大学生総数 18人 教授1人 ・内容:KJ法分析、発表、サッカー交流、教授による講義、プレゼン作成、議論、シンポジウム(サッカー元日本代表中田浩二氏による講演、大学生によるプレゼン、中学生によるプレゼン) <p>○2月15日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場:天塩中学校 ・参加者:中学1年生を対象 ・内容:特別授業として、町のいい長所・短所を「KJ法」を用いて整理する手法について大学生による授業を実施した。 <p>○2月16日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場:天塩中学校 ・参加者:48人(中学生47人 高校生1人) ・内容:「Pepperを使った町おこしプランを考えよう」をテーマに、KJ法による町の分析、町おこしプランの議論、資料作成、プレゼンを行った。 <p>○プレゼン内容(提案内容)</p> <p>(8月25-26日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天塩川を生かしたまちづくり→天塩川宿泊プランを提案(四季ごと) ・道の駅活性化→Pepperを活用し、「天塩Channel」によるPR。テイクアウト商品の開発、道の駅イベント <p>(2月16日)Pepperを生かしたまちづくり(抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Pepperが町内を回るPR動画 ・かまくらジンギスカンパーティを開催。Pepperは外国人に対する案内に活用 ・各地にPepperを設置し、インスタにてPRを行う。 																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">主たる開催曜日</td> </tr> <tr> <td>平日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土・日</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主たる開催時間</td> </tr> <tr> <td>午前</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>2</td> </tr> </table>	主たる開催曜日		平日		土・日	○	主たる開催時間		午前	○	午後	○	夜間		実施回数	2					
主たる開催曜日																						
平日																						
土・日	○																					
主たる開催時間																						
午前	○																					
午後	○																					
夜間																						
実施回数	2																					
成果と課題	<p>(成果)</p> <p>ワークショップにより、課題を整理する力を身につけることができ、中高生から見た天塩町の良い点、悪い点の意見収集することができた。また、ワークショップをとおして、大学生との交流をつうじて、大学を身近に感じる機会を提供することができ、進路選択への好影響があると考えられる。大学等と連携した中高生とのワークショップは、町の将来を担う若者の人材育成に資するものであると考える。</p> <p>(課題)</p> <p>中学生の参加率は高いが、高校生の参加率が低く、高校生に対してのアプローチが必要である。またどう事業を発展させるか、思案していく必要がある。</p>																					
																						

地方創生事業総括シート

事業名	Pepper社会貢献プログラムスクールチャレンジ																			
開催日時	通年																			
開催場所	天塩小学校、啓徳小学校、天塩中学校																			
対象者	西天北5町連合(天塩町・遠別町・中川町・幌延町・豊富町)全学校の小中学生及び教育機関関係者																			
実施目的	ソフトバンクグループ株式会社より無償提供される人型ロボット「Pepper」を活用し、「Pepper」を動作させるプログラミングを学ぶことにより、論理的思考能力・創造力・問題解決能力向上といった能力の育成を図る。また、都市部と地方とのIT教育格差を是正し、未来ある子どもたちが世界で活躍できるようにIT教育の支援を目的としている。																			
情報提供方法	町広報	○	パンフレット等		放送・新聞	○														
	説明会等	○	インターネット	○	その他															
連携団体	ソフトバンクグループ株式会社																			
事業の概要	<p>【内容】 Pepperは西天北5町(13校52台)に3年間無償提供されるプログラミングソフト「コレグラフ」を利用し、プログラムを行い実際にPepperを動作させる小学校で「総合的学習の時間」中学校では「技術・家庭の時間」のコマ数を利用し、最低でも6コマを実際の授業で活用 毎年2月にPepper導入校の代表者が集まり全国コンテストを行う 全国コンテストは小学校・中学校・部活動の3部門 テーマとして、小学校部門は、「身の回りで役立つPepper」、中学校部門は、「社会の課題を解決するPepper」、部活部門は、「フリー」。テーマ設定・指導する先生のサポートとして、NPO法人えんべつ地域おこし協力隊と契約。授業のサポートや指導者向けの講習会を開催</p> <p>【活動報告】 ○通常の授業について 立命館小学校監修のソフトバンク提供のカリキュラムを活用 Pepperを活用したプログラミング教育を行うことでリアルタイムでコミュニケーションがとれることから他のICT機器には無い学びが行える</p> <p>①考える力 トライ&エラーにより発見と意欲の向上、考える癖の育成 ②協調性 グループ学習のため協働による自己と他者を理解する力が身につく ③表現力 Pepperを活用し自分のテーマを表現し、伝えるという意味を理解する ④創造力 コレグラフを活用することにより創造力が向上しイノベーションが生まれる</p> <p>○2018年度プログラミング成果発表会について 東京都汐留にあるソフトバンクグループ株式会社本社にて開催。今年度は、自治体コンテストを勝ち抜き、かつソフトバンクによる最終審査を通過した代表校のみが出場できることとなった。(自治体コンテスト内容) 各学校の代表グループの発表動画を天塩町にてとりまとめ、西天北5町の各教育委員会教育長による審査を行う。 (コンテスト結果) 小学校部門:天塩小学校 中学校部門:天塩中学校 部活部門:天塩中学校 (ソフトバンクによる最終審査) 上記、代表グループの発表動画をソフトバンクに提出し、審査。結果、全国大会への出場には至らなかった。</p>																			
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">主たる開催曜日</td> </tr> <tr> <td>平日</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>土・日</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">主たる開催時間</td> </tr> <tr> <td>午前</td> <td></td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">実施回数</td> </tr> </table>	主たる開催曜日		平日	○	土・日		主たる開催時間		午前		午後	○	夜間		実施回数				
主たる開催曜日																				
平日	○																			
土・日																				
主たる開催時間																				
午前																				
午後	○																			
夜間																				
実施回数																				
成果と課題	<p>○成果 Pepperを活用することでコミュニケーションを取りながら楽しくトライ&エラーができるため、アクティブ・ラーニングにつながる。実際、生徒たちは楽しみながら授業を行っていた。全国大会への出場は敵わなかったところではあるが、2020年からプログラミングが必修となり、前倒してプログラミング授業を提供できたことは成果といえる。</p> <p>○課題 本プログラムによるPepperの無償貸与は、2019年度が最終年となっている。有償での貸与もあることから、学校現場との協議を重ね、プログラミング教育のあり方を検討していく必要がある。</p>																			
	   																			

地方創生事業総括シート

事業名	天塩町スポーツ教育推進事業																					
開催日時	2018/7/27、10/21																					
開催場所	天塩小学校、社会福祉会館、天塩中学校体育館																					
対象者	小学生、中学生、指導者、保護者																					
実施目的	<p>「スポーツ」は、自ら考え発言し行動する人材の育成を行うことであり、互いのプレイヤーを尊重することができるスポーツマンシップの精神を浸透させ、ICTを活用した、遠隔での指導をおこなうことにより、都市部と地方との地域格差の是正及び指導者や子どもたちの健全な精神及び技術的向上を目的とする</p>																					
情報提供方法	町広報	○	パンフレット等	○	放送・新聞	○																
	説明会等		インターネット	○	その他																	
連携団体	ソフトバンクグループ株式会社																					
事業の概要	<p>【内容】</p> <p>①千葉商科大学の中村先生による「スポーツマンシップに関する講演会」 →保護者や指導者に向けたスポーツマンシップとは何かを伝える講演を実施</p> <p>②「スポーツマンシップチャレンジ2018in天塩」の開催 天塩町全体にスポーツマンシップを浸透させるため、プロのアスリートからスポーツの体験や考え方を学ぶことができるイベント</p> <p>③SB提供の遠隔指導ができる「スマートコーチ」の活用 ・プロのコーチからの技術的指導を遠隔で行える</p> <p>【活動報告】</p> <p>①中村先生による「スポーツマンシップ授業」 講演会およびスポチャレ時に講義を実施。またアスリートを交えてトークショーを行う 子ども、保護者、指導者すべての人対し、スポーツと体育の違い、「相手を尊重し、全力を尽くす覚悟、負けても相手を讃え敗因を分析し、努力を続ける Good Loserの考え方」つまりスポーツマンシップの根底の考え方を伝える。</p> <p>②スポーツマンシップチャレンジ2018in天塩 子どもの参加者62名、保護者・スタッフ含めると100名以上の参加。 女子走り幅跳び日本記録保持者の「井村久美子」氏。 卓球は元日本代表の「新井周」氏が指導にあたる。 卓球経験者・小学生・中学生にグループで別れ、陸上・卓球・講義をローテーションで体験する。</p> <p>③スマートコーチの活用「ICT部活動支援」 レスリング少年団、天塩中学校の「バレー部」と「卓球部」に導入 部活動を行っている動画をスマートコーチで送信、添削後に返信 ICTを活用して距離の無効化にし、都会と同じレベルでの指導を受けることができるようにすること、また、指導経験が無くても指導者が技術指導ができるようになる</p>																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">主たる開催曜日</td> </tr> <tr> <td>平日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土・日</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主たる開催時間</td> </tr> <tr> <td>午前</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>2</td> </tr> </table>							主たる開催曜日		平日		土・日	○	主たる開催時間		午前	○	午後	○	夜間		実施回数
主たる開催曜日																						
平日																						
土・日	○																					
主たる開催時間																						
午前	○																					
午後	○																					
夜間																						
実施回数	2																					
成果と課題	<p>(成果) アスリートから直接技術や考え方などの指導を受けることで、参加した児童生徒は、今後のスポーツ活動に対して好影響であったと考える。また、スポーツマンシップにかかる講演については、スポーツだけでなく、社会人としても必要であるスキルについても学ぶ機会を創出できた。</p>																					
	<p>(課題) 少年団などに所属していない児童も数名参加していたところであるが、少数であった。前年度も課題となっていた点であるため、スポーツをあまりしていない層をどう参加してもらうか協議し、参加人数を増やしていく必要がある。</p>																					
																						
																						

地方創生事業総括シート

事業名	天塩町電子図書館導入(OverDriveJapan)																					
開催日時	通年																					
開催場所	天塩町社会福祉会館																					
対象者	天塩町民																					
実施目的	「未来への投資」として、OverDriveJapanが取り扱っている豊富な英語の電子書籍、リードアロング(朗読音声付ページめくり電子書籍)などのコンテンツを活用し、幼少期から英語に親しめる環境を整え、英語教育の促進を図る。																					
情報提供方法	町広報	○	パンフレット等		放送・新聞	○																
	説明会等	○	インターネット	○	その他																	
連携団体	OverDrive、メディアドゥ																					
事業の概要	<p>平成29年4月からスマートフォンやタブレット、パソコンなどの端末から電子書籍を借りることができる、電子図書館サービスを導入を行った。</p> <p>OverDriveの電子図書館サービスの導入は、北海道では初めての導入となり、電子図書館サービスを導入することは留萌・宗谷管内の公共図書館においても初めてであった。</p> <p>OverDrive社の電子図書館サービスを導入した理由は、豊富な英語の電子書籍、リードアロング機能(朗読音声付ページめくり電子書籍)などのコンテンツに優れているためであり、「未来への投資」として幼少期から英語に親しめる環境を整え、英語教育の促進を図ることを目的としたためである。</p> <p>平成31年3月末時点で、購入書籍数は1,449冊であり、内訳は幼児児童向け日本語図書132冊、幼児児童向け英語図書522冊、一般向け日本語図書759冊、一般向け英語図書36冊である。</p> <p>書籍の購入は和書を7割、洋書を3割程度の割合で毎月購入している。</p> <p>登録会員数は180名であり、貸出数の合計は3月末時点で563冊である。</p> <p>電子書籍の利用促進のため、スポーツ関係団体の総会や文化団体の総会など、町民が多数集まるときに内容説明と登録の呼びかけを行っている。また、町民文化祭など一般の方が多く集まったときに体験ブースを設置することや、子育てサークルに対する読み聞かせなどを行い、実際に体験する機会を増やしている。</p> <p>電子図書館はインターネット環境があれば24時間、どこからでも利用することが可能であり、貸出期間が終了すると、自動的にコンテンツにアクセスすることができなくなるため、返却の手間を省くことができる。</p> <p>○電子図書館体験会の開催</p> <p>8月19日(日)に、メディアドゥ社から職員を招聘し、電子図書館の利用促進のために、読み聞かせ会、電子書籍を活用した折り紙体験、電子図書館体験コーナーの設置などを実施。親子連れを中心に約30名の参加があった。</p>																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">主たる開催曜日</td> </tr> <tr> <td>平日</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>土・日</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主たる開催時間</td> </tr> <tr> <td>午前</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td></td> </tr> </table>							主たる開催曜日		平日	○	土・日	○	主たる開催時間		午前	○	午後	○	夜間	○	実施回数
主たる開催曜日																						
平日	○																					
土・日	○																					
主たる開催時間																						
午前	○																					
午後	○																					
夜間	○																					
実施回数																						
成果と課題	<p>(成果)</p> <p>昨年度に福祉会館のWIFI環境整備を行い、電子図書館を利用する環境を整えることができ、メディアドゥ社から職員の派遣をいただき、電子図書館体験会を実施できるなど、電子図書館の普及促進に努めることができたといえる。またインターネットがあればどこでも利用することができることから、利用サービス面の向上があった。</p> <p>(課題)</p> <p>想定より利用者が伸びず、電子図書館が根付いたとは言い難い。認知も低いことから、こども園、小中学校などにPRしていく必要がある。</p>																					
																						